



▲天気に恵まれ、参加者の笑顔も晴れ晴れ！

笑って、歩いていこう！
10月1日、「いいいてスポーツクラブ」が三春町さくら湖周辺で健康づくりと村民同士の交流を目的にウォーキング交流会を行いました。参加者は「大人の遠足みたいで楽しい」と声を弾ませながら、初秋のウォーキングでさわやかな汗を流しました。生涯学習課では、誰でも気軽に体を動かすことを楽しめる事業を計画しています。ぜひ皆さんも、ご参加ください。
生涯学習課
☎0244(42)0072



▲大勢で作っている時間も楽しみのひとつです

作る楽しみ——
でき上った喜び
10月19日、村が交流センター「ふれ愛館」で手芸教室を開催。世界でたったひとつだけの作品を、手作りで仕上げました。この日は、手芸教室や作品展を行っている「和工房咲き」（福島市飯野町）の阿部咲子さんを講師に、絹布を使った花やブローチを製作。参加者は「自分だけの作品ができて満足。家でも作ってみます」と作り上げた喜びを感じていました。



▲3月31日、福島民報に掲載した広告



▲10月20日、東京都で行われた贈賞式の様子

日本新聞協会 優秀賞
3月31日に村が福島民報や全国紙など5紙に掲載した広告「ただいま、ふるさと」が、日本新聞協会の新聞広告賞広告主部門優秀賞に選ばれました。この賞は、同会が、優れた新聞広告に贈るもので、各紙の推薦を受けた約300点の中から受賞作品に選ばれました。村が掲載した広告は、村が全国からの多大な支援やあたたかな応援に対して、改めて感謝と復興に取り組む決意を伝えたものです。



秋の実り 黄金再び

▲10月17日に行われた稲刈りのようす。稲穂が、実りの秋を知らせるように、秋風に揺れていました



10月、震災後初めて販売を目的とした主食用米（ひとめぼれ・こがねもち）の稲刈りが村内で行われました。さわやかな秋空の下、農家の方が7年ぶりに黄金色の稲穂を刈り取り、米作りの喜びをかみしめました。5月に田植えが行われた水田には、8月の長雨や台風を乗り越えた稲穂が力強く光輝いていました。今年、村内で収穫された主食用米と牛の飼料となる稲（WCS）は全量が販売されます。来年の春、村内での田植えや作付を予定している方は復興対策課農政係までご連絡ください。
復興対策課農政係
☎0244(42)1621



▲本格再開に向けて、牛舎に牛が帰ってきました

村内での牛の飼育 本格再開へ
10月10日、佐藤隆男さん（飯舘町）が村内での黒毛和牛の繁殖飼育を再開し、5頭の仔牛が牛舎に運ばれました。佐藤さんは、村内での再開のために震災前に使っていた牛舎やパドックのコンクリート部分を打ち直すなど準備を進めてきました。「今後は、県・村による肉用牛の飼養実証事業に協力しながら、とりあえず、牛を100頭まで増やしたい」と笑顔で抱負を話しました。